

報告書(第二号)

純正維新共同青年隊本部総務部

昨年十月郵船会社不敬事件発生以来本隊が会在当局及監督
 官庁に対し不断に行へ来りし糾弾問責運動の至週に就いて
 は其程度報告せる如くであるが儼岸非道なる会在は何等反
 省の色も示さず遂に会在内の正義派一高級船員によりて組
 織する、明朗会の同志を殺害して去る二月二十八日國体明徹
 社内革新を叫び蹶起せしむるに至つた。我が隊は断乎これと
 協同せんことを決定し既に聲明書を差して大義を宣明し実
 行委員は海軍省内務省逓信省等を丁訪して兼慮を迫ると共
 に郵船本社に対しは、大谷社長及び浦田海務課長との面会
 を要求めたるも言も左右に托して応じざりたため今三月五日
 午六時六時実行委員二十数名は品川巨長者丸なる大谷社長邸

に赴き左の如き報告書を午交嚴談すること、吉つた
 翻 告

貴下は絶大なる御皇室の御加護と深甚なる國家の恩恵とに
 よりて今日を成せる日本郵船最高の責任者として不敬問題
 の全責任を肩負ひ即時引退整居謹懐の上謹んで謝罪の至誠を
 表明すべきを勸告す

貴下は絶大なる御皇室の御加護と深甚なる國家の恩恵とに
 よりて今日を成せる日本郵船最高の責任者として不敬問題
 の全責任を肩負ひ即時引退整居謹懐の上謹んで謝罪の至誠を
 表明すべきを勸告す

一心からざる謝罪文を即時天下に発表すること

一浦田海務課長その他責任者の一斉謝罪

一明朗会諸君の全要求條項を無條件承認の上速かに之が現
 現を期すること

一全社員を道ちに海員協会 日本海員組合より脱退せしめ